

共生

願 共諸衆生往生安樂国

（善導大師『往生礼讃』）



共生という言葉は、元来「願共諸衆生往生安樂国」の中の二文字を合成して、生まれたものです。

私も往生をするが、私だけではなくて、あらゆる人たちとともに、浄土への道を進むという意味があります。

信仰は、われ一人の問題から始まります。が、そこに留まることなく、あらゆる人々への思いへ発展させることで、深く篤い信仰となっていくのです。

総本山 永観堂 禅林寺

願行具足

(善導大師『観経疏玄義分』)


 願行
具足
 
 禪林寺法主 徹玄 隆明

先日、頼まれてお念仏を唱えました。家族の方が心配そうに周りを取り囲む中、顔見知りのお婆さんが静かに眠っていました。

枕元に來迎図を懸け、お婆さんの耳元で、確かな声でゆっくりと十声お念仏を唱えました。

眠るように息を引き取ったという知らせを聞いたのは、翌朝でした。

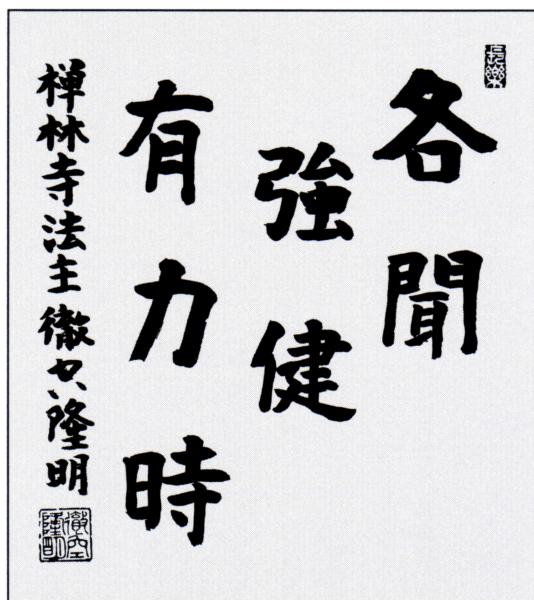
阿弥陀様の御來迎があったのですね。「なむあみだぶつ」のお念仏には、阿弥陀様の必ず私たちを極樂に往生させようという願と行がそなわっています。私たちの称えるお念仏の声は阿弥陀様の願いです。そして、極樂往生は私の願い、皆の願いです。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明 猊下のご染筆です。前々号の色紙は、金沢市在住 島村清次様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。三月十五日に、抽籤で一名に進呈。

各聞強健有力時

(善導大師『往生礼讃』)



セカセカは
いけませんぞ
仏の教えに
しつかりと
耳を傾けなさい
ウカウカも
いけませんぞ
余命は
日々刻々
減っているのです
身体が
動くときに
気概も
あるときに
考えるのです
励むのです
自身の
永久の安らぎを
得るために

総本山 永観堂 禪林寺

一念な猶お生まる

況いわんや多念をや

法然上人

一念な猶お生まる

況や多念をや

法然上人

禅林寺法主徹玄隆明



言つて

みたいのです

何度でも

確かめて

みたいのです

何度でも

面倒がらず

何度でも

思いを込めて

何度でも

総本山 永観堂 禅林寺

ひょうか
兵戈を用うることなかれ

無量寿經

兵戈を
用うる

ことなかれ

無量寿經

総本山 禅林寺 徹々・隆明



身を挺すという言葉がある。
世界大戦中に、「挺身隊」というのがあって、人に先んじておもむく、という意味で使われていた。面白いのは、挺身には、逃げるときには、速やかに全力で身を引くという意味がある。
世界大戦時に、部下を持った僧侶出身の兵士は、敵が攻めてきたら、一斉に逃げろと指示をして交戦しなかった。だから、部下を一人も死なせなかったし、相手も死ななかったと。
これは、この老僧の自慢であった。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長、五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県在住馬場徳孝様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。六月十五日に、抽籤で一名に進呈。

「金蘭之契」

こころ清き友と交わるべし
まされる　とも
上士を侶とせよ

ダンマ・パダ

こころ清き友と

交わるべし

上士おとこを侶ともとせよ

一
ダンマパダ

禪林寺法主 徹空隆明



唐の戴弘正たいこうせいは、親友ができる

たびに、その名をノートに記し香を焚^たいて先祖に告げて敬ったといひます。親友を持つことは、それほど大きな価値があつたのです。そのノートを『金蘭簿^{きんらんぼ}』と称し、親密な交わりのことを「金蘭の契り」というのも素敵な言葉です。

その由来は「心の通じ合う者同志の結束は、金のように固く、語ることばは蘭のように芳しい」という易経にあります。

人生をゆたかにし、喜怒哀樂を分かちあう「金蘭の友」こそ、生涯の宝です。

總本山 永觀堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明殿下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県信楽町在住 平尾諄風様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。七月十五日に、抽籤で一名に進呈。

衆生称念すれば、

必ず往生を得^う

往生礼讃



衆生称念すれば

必ず往生を得

往生礼讃

禅林寺法主 徹空隆明



弥陀に

わたしは

生かされている

護られている

ただ

そのことを

信ずるがよい

たとえ

十念でもよい

念仏で

生きる力が

湧いてくる

総本山 永観堂 禅林寺

俱会一処

阿弥陀経



親しい人が亡くなったときの
悲しき・寂しきを取り払うこと
は、決してできません。

その故人の思い出に心を巡ら
すとき、亡くなった方は、私た
ちのことをどう思ってくれてい
るでしょうか。

お浄土で、先に往かれた多く
の方とともに、きつと、私たち
のことを談笑していることとし
よう。

「ぼくたちは、こんなふうに
仲良く元気にやっているよ」と、
報告できることも、法事の大事
な心構えなのです。

総本山 永観堂 禅林寺

燈^{とう}

燈^{とう}

無^む

盡^{じん}

維^い

摩^ま

經^{きやう}

明^{とも}るい燈火^{しび}は、広^{ひろ}がつていく

無燈 盡燈

禪林寺法主徹々隆明



山口県の萩市を歩いていると、
小学校の下校時間だったようで、
多くの児童たちが、友達同士で
賑やかに歩いている。

すると、何人かの子どもたち
が、旅人の私に「こんにちは」
って挨拶をしてくれる。

私も、つい引き込まれるよう
に「こんにちは」と返事をした。
とても、いい気分。

たったこれだけのことですが、
みんなに言いたくなるほどの、
いい気分。

小さな出来事だけど、大きく
広がればいい。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県加古川市在住 廣野和子様に贈呈いたします。ご希望の方は、カギで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十月十五日に、抽籤で一名に進呈。

世報は意にあらず

五観の偈

世報は

意にあらず

五観の偈

禪林寺法主 微空隆明



良いことをして名が知られると、
誰も悪い気がしない。しかし。

大阪豊中市に三十三年間、毎月休
むことなく匿名の寄付が届けられ、
延べ四百回、総額七百二十一万円に
上った、と新聞に報じられていた。
こつこつと寄付を送り続けるという
のは容易にできることではない。し
かも、寄付者は決して裕福ではない
様子である。そこには名声や賞賛と
いう世報を求めず、ささげ続ける謙
虚な姿と純粹な心が感じられる。
ギブ・アンド・ノーテイク。施し
て報いを求めず、これこそ真の布施
行であろう。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長 五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県豊明市在住 吉田真一郎様に贈呈いたします。
ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十一月十五日に、抽籤で一名に進呈。

慈^じ愍^{みん}

厳しい愛情

慈愍

禅林寺法主 徹せ、隆明



ある日、寺の中に一頭の鹿が迷い込んだ。師匠はそれを見つけるなり、弟子たちに追い出すように命じた。師匠も自ら、杖を持って追い出した。弟子たちは、「いつもはやさしいはずのお師匠様が、今日は一体どうされたのだろうか。ご機嫌が斜めだったのだろうか」とささやいた。これを聞いた師匠は、弟子たちに告げた。

「もし鹿が人に馴れてしまったら、いつか捕らわれてしまうことがあるかもしれない。それが不愍で追い払ったのだ」と。

この師匠は、『往生要集』をまとめられた源信僧都のことである。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長、五十嵐隆明猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県高砂市在住、馬場みどり様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。十二月十五日に、抽籤で一名に進呈。

各留半座

ともに浄土に集う

『般若讃』 善導大師

各留半座

禪林寺法主徹空隆明



お祖父さんが先立たれ数年がたち、お祖母さんが亡くなられました。

今頃、お浄土の蓮華の上で、

「ばあさん遅かったな。出かけるときは、いつも遅かったからなあ。待ちくたびれたぞ」「はいはい、おじいさんは、いつもせっかちでしたからねえ」と、話していることでしょう。先に往かれた人が、後から来る者のために、お浄土の席を暖めていてくれることを「各留半座」と言います。あの人が待っていてくれるお浄土へ、いづれ私たちも往く。そのお浄土へ、お祖母さんを無事に届けていただきたい。

そう念じて、皆さんと一緒に南無阿弥陀仏を唱えましょう。

総本山 永観堂 禪林寺

右の色紙は管長・五十嵐隆明様下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市相楽郡在住 柳原隆康様に贈呈いたします。ご希望の方はハガキで住所・氏名・年齢明記の上、下記へお申し込み下さい。一月十五日に、抽籤で一名に進呈。